丹後市民局ルックルックNEWS第30号(令和3年10月発行)



初セリを待つ冬の味覚の王者 "間人ガニ"



↑丹後市民局ルックルックNEWSのバックナンバーはこちら

丹後町の人口

	R 3.9月末	前月比	
0-14歳	423	△ 4	
15-64歳	2,275	0	
65歳-	2,133	△ 6	
計	4,831	△ 10	

地域おこし協力隊丹後町担当の大木史帆が、丹後町を応援する人や魅力的な場所を紹介するコーナー

丹後町な場所巡

「平海岸」



今回の丹後町な場所は地域おこ し協力隊の前川さんがお気に入り の「平海岸」です。

晴れた穏やかな日によく散歩され ているようで、静かで落ち着くとのこ と

ちょうどこの日は地元の人達が海 岸清掃をされていました。ここに住 む人たちにとってなくてはならない この平海岸がいつまでも美しくあっ てほしいとの願いが伝わってきます。

トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町な体操」を紹介するコーナー! *たんご(健)康(本持*

第18回「間人ガニの型 其の弐」

- まっすぐ立ち、頭の後ろで手を組みます。
- ② 右足を横に出し、肩幅より少し広めに開きます。
- ③ ゆっくり腰を落とします。
- ④ 左足を地面に着けたまま右足の方にゆっくりスライドさせて ①の状態にします。一呼吸置いたら逆側も行ってください。

この体操をすると大きい筋肉が働くため、体が熱くなります!これからの寒い季節にぴったりの体操です。

(地域づくり支援員 吉岡秀真)







掲載団体や話題を大募集!

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしい ニュースがある団体や個人を募集します。 掲載を希望される方は、丹後 市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局(100772-69-0714) ※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。 ないと感じました。」と前川さん。自分自身の生活を見直していかないといけ自分自身の生活を見直していかないといけの逞しさも強く感じ取る事ができ、まずはにもかかわらず現地で暮らされている方々にもかかわらず現地で暮らされている。

援を与えられるのを待つしか出来なくなる現代の生活では災害などが起こった時、支ないと感じました。」と前川さん。

のではないかと不安を感じ、

もっと地球に馴

(地域おこし協力隊

大木

史帆)

Tango 地域 news



経ヶ岬灯台一般公開と 「海と灯台ウィーク」の取組み

ターパネルを製作しました。 守り人(あかりのもりびと)プロジェクト」と して、各地の灯台を擬人化したキャラク 日本財団 海と日本プロジェクト」が

> さい。 チをプレゼントしています。 ラクターパネルを、現在、丹後市民局の窓 行った人には、経ヶ岬灯台オリジナル缶バッ 台の一般公開で、展示された等身大のキャ 口近くに展示していますのでぜひご覧くだ キャラクター パネルと記念撮影を 経ヶ岬灯台を擬人化したキャラクター

掛け声が響き熱気にあふれていました。 多くなったそうです。初セリでは勇ましい 少し少なく、メスガニは過去3年間で最も

人漁港では"間人ガニ,の初セリが行われま

11月6日(土)、カニ漁が解禁され、間

解禁初日の漁獲量は雄ガニが昨年度より

お待たせしましたカニ漁解禁!

10月30日(土)に行われた経ヶ岬灯



ボランティア清掃活動

京丹後市シルバ

人材センター

の

米軍とハロウィン共催 宇川わくわく教室

の共催で開催されました。 宇川わくわく教室と米陸軍経ヶ岬通信所 ティブライフハウスにて 宇川ハロウィン」が 令和3年10月27日(水)に宇川アク

ございます

除草作業を行っていただきました。環境美 後市丹後庁舎横の『ミュニティプラザ」の

化活動に取り組んでいただきありがとう

齢者福祉施設等の除草作業等環境美化

活動に取り組んでいます。

令和3年度は、10月27日(水)に京丹

会奉仕活動の一環として、

公共施設や高

京丹後市シルバー人材センター

では、

2名がそれぞれ、モップおばけや、 深めました。 べや輪投げなどのゲームを楽しみ交流を ラ、ドクタ 次回は12月22日(水)にクリスマス会を 宇川地区の小学生や米軍関係者総勢6 の仮装をして参加し、三目並 ドラキュ

もらえる場としては、とてもいい環境だとんが伝えたい事を形にし、多くの人に見てを川の生活は自然が近いだけに、前川さ 予定しています。

球に馴染んだ生活のように感じるのではなにとっては、逞しくまたその暮らしこそが地り、都会での暮らしに疑問をもっている人達 4す。自然早こし引ぎ ヒミっピ・・ハワの帰り道には、絶対に何かの動物に

代」(まえがわ ふみよ)さんです。 当で地域おこし協力隊に着任した 前川典今回の丹後町な人は9月1日から宇川担

* 前 *

代さん*

思います

移住者にとって自然と暮らすお手本とな

ご両親が営む鍼灸院とカフェで働かれてい治国際医療大学で鍼灸を学ばれ、前職は

前川さんは京都市西京区桂の出身で、

エビラュ゚ニーュニル゙カラるそうです。 大学の研修では間人にある松風苑に来て

会います 生活することが、人間本来の生き方のよう ない感覚だと思います。 コンクリートジャングルの都会では感じ取れ に思います 自然のことをよく知り、それに合わせてらているように思うことがあります。 自然界に人間が住まわせても

自然と共存して生きていかないとダメではを防ぐコンクリートの防波堤を見て、もっと

ないのかと思いました。また、津波があった

動されています お話しありがとうございました。明待しています! 明るく気さくな前川さん。宇川での活躍

加工所に入られ、金曜市など精力的に活まだ来られて2カ月と少しですが、宇川

楽んだ生活をしたいと思い、その頃から田 東日本大震災は前川さんだけではなく、 東日本大震災は前川さんだけではなく、 多くの人の考えを変えるきっかけになったの ではないでしょうか。

前川さんが参加する宇川金曜市

れがまた人間に戻ってくると言うことを伝り、自分達が流しているものが海にいき、そ戻していきたいです。山に入れるようにした

」と前川さん。

ら離れていってるところを、また昔の生活にいと考えています。人間の暮らしが自然かか?」と尋ねると、環境問題に取り組みた

協力隊になりやってみたい事はあります

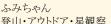
前川典代さんプロフィール

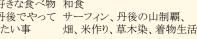
呼び名

•趣味 登山・アウトドア・星観察 藍色

和食

サーフィン、丹後の山制覇 みたい事







ビーチクリーンをする前川さん







